

水沢ワイン ドメーヌフィアージュ

## 五十嵐和仁さん



水沢町でブドウ栽培やワインづくりに取り組む五十嵐和仁さん。地域の農地や風景を未来につなぎたいとの思いから、新たな農業に挑戦しています。活動を始めたきっかけや、水沢町への思い、今後の展望などをお聞きしました。

### 変わりゆく故郷をきっかけに生まれた 新たな挑戦

祖父が専業農家だったので、農業は身近な存在でした。私はこどもの頃から興味があった建設業の道に進みましたが、忙しい日々を送る中でも、農業への興味は持ち続けていました。

私が生まれ育った水沢町は、茶畑が広がる自然豊かな地域です。しかし近年、耕作放棄地が増え、昔から見慣れていた景色が少しずつ変わっていくのを感じるようになりました。このままでは地域の魅力が失われてしまうのではない

か、そんな思いが、農業に挑戦するきっかけになりました。

### お茶とともに歩む新たな魅力を

以前から興味があった果樹栽培に挑戦することを決め、好きだったブドウを調べる中で、美しいブドウ畑の景観に魅力を感じました。水沢町は南向きの斜面が多く、水はけも良いため果樹栽培に適した環境がありますし、美しい茶畑の中にあっても景観を損ないません。

また、ブドウは葉の管理が品質を左右するとされ、水沢町の名産であるお茶もまた「葉」を育てる文化です。お茶の産地である水沢町だからこそ、お茶とともに水沢町の魅力となる新たな名産品を育てていけるのではないかと考えています。

### 人とのつながりに支えられて

昨年11月に初めてのワインを販売したところ、想像以上の反響をいただきました。特に印象的だったのは、普段あまりワインを飲まないという人が、たくさん買いに来てくれたことです。それだけ地元の皆さんが、水沢町や四日市の魅力、地産地消に関心を寄せてくれているのだと感じました。

これからはワインだけでなく、萬古焼や地元食材との組み合わせなど、四日市ならではの楽しみ方も提案していきたいと思っています。始まったばかりで、まだ足りないところもあるかもしれませんが、成長過程も含めて楽しんでいただけるワインを育てながら、水沢町や四日市の魅力を次の世代につないでいけたらと思っています。



標高290mの宮妻の丘に広がる農園



醸造所「ドメーヌフィアージュ」



ブドウ畑で作業する仲間の皆さんと

7月放送のCTY-FM「よっかいち わいわい人探訪！」でも紹介します。(放送時間は裏表紙へ)